

## 相原地区資源ごみ処理施設連絡会（第5回）

### 議事要録

- 日時 2014年9月6日（土）15時～16時30分
- 場所 堺市民センター 和室
- 出席 平山会長、井上副会長、青木委員、江田委員、井川委員
- 事務局  
：内山環境資源部長、田後循環型施設建設担当部長  
循環型施設整備課 　：守田課長、深澤担当係長、柳川主事  
環境政策課 　　　　：鎌田統括係長
- コンサルタント（株式会社日建設計）  
　　　　　　　　　　　：高津主管、西郷担当、小平担当、今江担当、石川担当、中島担当
- 傍聴者 0名
- 配布資料
  - ・ 1 　　　：相原地区資源ごみ処理施設連絡会（第4回）でのご意見・ご要望
  - ・ 2-1 　　：ワークショップ開催の経緯と目的（案）
  - ・ 2-2 　　：ワークショップの概要
  - ・ 2-3 　　：開催までの準備事項
  - ・ 3-1 　　：今後の進め方（案）
  - ・ 3-2 　　：地区連絡会及び見学会等における今後の協議事項について
  - ・ 参考資料1 　　：経過報告
  - ・ 参考資料2-1 　：資源ごみ処理施設に関わるご意見・ご要望募集  
（4/1～4/21実施）結果概要版
  - ・ 参考資料2-2 　：資源ごみ処理施設の概要

## ● 開会の挨拶

内山部長より、開会の挨拶を行った。

## 1. 経過報告

### ・参考資料 1 経過報告 2014 年 5 月 17 日（第 4 回地区連絡会）～2014 年 9 月 6 日

参考資料 1 を用い、第 4 回地区連絡会以降の相原地区及び他地区での経過を報告した。

（以下、補足説明）

#### ・田後担当部長

第 3 回地区連絡会で、市内の既存の資源ごみ処理施設の見学についてご要望頂いたことから、6 月 7 日にリレーセンターみなみの視察を行った。6/14 には大戸地区役員に対し、地域ブロックごとの説明会を実施することを報告した。その後、7 月 17 日、7 月 25 日、7 月 26 日に、寒川クリーンセンターの紹介 DVD をご覧頂きながら、各ブロックにて説明を行った。

（参考資料 1 について質問・ご意見・ご要望の提示は無かった。）

## 2. 協議事項

### ○ 議題 1 第 4 回連絡会で頂いたご意見・ご要望について

#### ・資料 1 第 4 回連絡会で頂いたご意見・ご要望

資料 1 を用い、第 4 回連絡会でのご意見・ご要望に対する回答を行った。

（資料 1 - 1 について質問・ご意見・ご要望の提示は無かった。）

### ○ 議題 2 ワークショップについて

- ・ 資料 2-1 ワークショップ開催の経緯と目的（案）
- ・ 資料 2-2 ワークショップの概要
- ・ 資料 2-3 開催までの準備事項
- ・ 参考資料 2-1 資源ごみ処理施設に関わるご意見・ご要望募集（4/1～4/21 実施）結果概要版
- ・ 参考資料 2-2 資源ごみ処理施設の概要

資料 2-1 を用い、ワークショップの開催の経緯と目的を説明し、資料 2-2 と参考資料 2-1、参考資料 2-2 を用い、ワークショップの事例を示しながら、相原地区でのワークショップの進め方を説明した。資料 2-3 を用い、ワークショップの開催日程について協議した。

（以下、補足説明）

- ・ 事務局 ワークショップ開催の経緯について説明する。建設予定地公表から現在に至るまで、地域での懇話会や説明会、地区連絡会を通じ施設整備の検討状況について説明を行ってきた。その中で、多くの質疑応答を通じ、ご意見・ご要望を頂いてきた。また、相原地区では、本年 4 月に地区連絡会主催で施設整備に関する意見・要望の募集を行った。これらの成果をふまえ、頂いた意見・要望をより具体化するために、建設予定地周辺の皆さまと協議・検討を行う場としてワークショップを開催するものとする。
- ・ 事務局 ワークショップの目的について説明する。現在検討中の施設整備計画に、

近隣住民の方々のご意見・ご要望を反映し、地域の魅力や価値をより一層高めるため『ごみ処理以外に施設に対して求める機能の整備』について協議する。ワークショップでの成果物は、今後、地区連絡会等で頂いた意見・要望とあわせ施設整備計画の検討に使用する。

ワークショップの検討テーマは、『相原地区資源ごみ処理施設の整備において、ごみ処理以外に施設に対して求める機能』、『資源ごみ処理施設周辺の整備方針』を予定する。

- **事務局** ワークショップの参加者は、地区連絡会委員5名を含め、地域で働く方、地域で暮らす方、地域で学ぶ方等、年齢や役割に偏りのないよう全体で20名程度を想定する。
- **事務局** 相原地区連絡会で行うワークショップ案について説明する。ここでは、ワークショップを2回開催する予定である。第1回目には、前述の検討テーマに関し、課題の抽出・確認と課題の重要度の整理を行い、重要度のまとめ表を作成する。第2回目は、第1回目の2週間後程度に開催し、第1回の成果をふまえ、施設周辺整備方針・要望を具体化するためのアクションプランを検討することとする。第1回と第2回の間には、参加者の方々に宿題として、第1回で抽出した課題についてどのように対応するのが良いか、各々で情報収集して頂くことを想定する。  
参加者には、数チームに分かれて作業して頂く。各チームには、ファシリテーターとして市の職員がつく。ファシリテーターは、進行役を担当するものであり、直接意見を言ったり、ワークショップの作業に加わったりすることはない。
- **事務局** ワークショップの開催日程の候補については、第1回を10月18日(土)、第2回を11月1日(土)、両日とも1回あたり3時間を提案する。参加者については、地区連絡会で調整し、9月中に事務局にご連絡頂きたい。

(以下、質疑応答)

- **田後担当部長** ワークショップの検討テーマとしては、ごみ処理以外で施設に整備したい機能や、周辺に整備したい事柄を想定している。一方、本体のごみ処理施設については、施設の整備位置を、学校や住宅から離せるよう建設予定地の土地所有者と協議中であるため、皆さまに配置計画をお知らせすることができていない。このような状況でワークショップを開催することについて、委員の方々のご意見を伺いたい。
- **井上委員** ワークショップでは、施設本体ではなく『ごみ処理以外に施設に対して求める機能』について議論するのだから、特に問題は無いのではないかと。
- **青木委員** なぜ、この時期にワークショップを開催しなければならないのか、提示されたスケジュールで実施する必要性について納得できるような説明を頂きたい。
- **江田委員** 施設整備に関する市の予算編成のスケジュールや、施設を2020年に稼働開始させるための工事日程等、全体の手続きを考慮すると、なるべく早めに地域の要望を集めておきたいというのが市の意図ではないかと推察できる。ワークショップの開催時期がいつになっても、特に問題は無いと考える。できれば、前倒して行うことが良いのではないかと。
- **井川委員** 地域からの要望書の提出は、確実に要望が受け止められるよう、計画の進捗や、計画に関する意見の集約の状況を考慮しながら、段階的に複数回行うことを想定している。
- **井上委員** 施設で行われる基本的な処理作業については、類似施設の視察を通じ、凡その検討がついている。江田委員の意見にもあるとおり、行政の意図として、早期に地元の要望を取り入れ、計画に反映したいということがあるのではないかと。
- **平山会長** ワークショップで参加者から出される意見が、施設の計画内容に全て受け入れられるわけではないと考えている。地域の人々が施設に対してイメージする内容は各々異なっており、ワークショップではそのイメージの概要をまとめたいと

ということだと理解している。施設が2020年稼働開始と想定されているなか、今後は、地域からの要望への対応の可否が順序だてて検討される段階にあると考えられる。そのため、現段階でワークショップを通し地域の要望の概要をつかみ、そこで新たな課題が発見されれば、継続して協議するというやり方で、全体の方向性が決められるのではないかと。

- **井上委員** どのような要望が出るのか不明だが、施設と同時に整備できるものやそうでないものがあると思う。
- **田後担当部長** 現段階で、地元の要望をふまえながら施設の計画を行いたい。施設と同時に整備すべきもの、継続的に対応すべきものについて、施設のかたちが固まるまえに、地域の皆さんのご意見を聴きたいということである。
- **江田委員** 参加者の調整について、計画地に近い地域の方から参加者を多く募るなどバランスについて配慮が必要ではないか。
- **平山会長** 資源ごみ処理施設整備については、相原全体の課題であるため、資料2-1のワークショップ参加者のイメージを参考に、出席者の所属地域や役割に偏りが無いよう調整するのが良いのではないかと。地域で働く方の代表として、商工会役員を想定し、地域で暮らす方の代表として、計画地直近の町会・自治会役員を中心に調整し、地域で学ぶ方の代表として、計画地に近い、ゆくのき学園のPTAを想定する。各役割の代表に声掛けを行うことで、全体として、参加者の所属地域にも偏りが無いよう調整できるものと考えているが、いかがか。
- **井上委員** 相原全体の意見を募るのであれば、まちづくり協議会や青少年健全育成委員会にも声掛けすべきではないか。
- **内山部長** 配布資料には、ワークショップ参加人数を20名と記載したが、あくまでも目安であり、多少増えても問題ない。
- **平山委員** 地元では、地区協議会の話も進んでいる。地区協議会では、第2段階として、まちづくり協議会や青少年健全育成委員会にも入って頂き協議する事も考えられる。今回のワークショップについては、地域性もあり、既に資源化施設という課題が出ているため、ある程度計画地に近い地域によっても良いかと考えていたが、意見をふまえて声掛けを行うことにする。
- **青木委員** ワークショップの進め方について、参加者を3チームに分けて作業することのことだが、全てのチームで同じ議題を扱うのか。
- **平山会長** 先日、別件のワークショップに参加したが、大人数で議論するより、少人数のチームに分かれることで、参加者も意見を出しやすい。全チームで同じ議題を扱っても、各チームで異なった視点から課題が検討されるため、全体として様々な意見が出る結果となった。
- **平山会長** 第1回ワークショップの日程と会場を調整する。

(各委員が協議した結果、以下の通り仮決定した。)

**第1回 10月18日(土) 18:00~21:00**

**会場：堺市民センター(ホール)**

**第2回 11月1日(土) 18:00~21:00**

**会場：堺市民センター(ホール)**

※参加者は、9月中に調整し、会長から事務局に連絡することとする。

- **コンサルタント** 他自治体の事例の紹介。ごみ処理以外に施設に対して求める機能については、今回のワークショップ1回限りで決定するものではなく、時間をかけて協議してゆくものである。他自治体では、焼却施設が市役所や体育館といった他の公共施設と同じエリアに整備されており、それをふまえて協議されている。

- **平山会長** 今後、差しつかえのない範囲で、他の自治体のごみ処理施設に関する地元協議会等で提示された意見を見ることはできないか。
- **コンサルタント** 当該市のホームページから、協議会資料及び議事録を閲覧することができる。
- **青木委員** 地域から直接的に要望を収集するのは、このワークショップ2回のみとになってしまうのか。
- **田後担当部長** 具体的な日程については未定であるが、今後施設整備に関する連絡会を継続して協議してゆくなかで引き続き協議してゆくことを考えている。
- **平山会長** 当地区連絡会は施設が稼働するまで継続して開催されるとのことなので、今回のワークショップの結果で、付帯施設に関する住民要望の収集が決定してしまうわけではない。あくまでも、方向性を確認するための場、意見集約のための場と考えている。ワークショップでまとめられた意見・要望が決定事項ではないことをふまえたい。
- **井川委員** 地域から市に対して行う要望書の提示についても、1回のみで完結するとは考えておらず、今後も計画の進捗にあわせて、複数回にわたり継続して実施していくことを考えている。

### ○議題3 今後の進め方について

- ・ **資料3-1 今後の進め方（案）**
- ・ **資料3-2 地区連絡会及び見学会等における今後の協議事項について**

資料3-1、資料3-2を用い、今後の進め方について説明した。

（以下、補足説明）

- **事務局** 資料3-1に示した、生活環境影響調査については、施設の位置が決定次第着手するため、状況に応じて2015年度以降の実施となることがある。東京都自然保護条例に基づく調査は、現在、夏季調査を終えている。今後、秋季、冬期の調査を実施予定である。調査の概要・結果については、次回以降の地区連絡会で報告する。次回地区連絡会は、ワークショップ開催後、主な議題をワークショップの結果のとりまとめとして開催する。開催時期は、11月下旬を予定する。

### ●閉会の挨拶

田後担当部長より、閉会の挨拶を行った。

- **田後担当部長** 施設のレイアウトについては、地権者の同意や周辺地域との調整がまとまり次第、地区連絡会を通じて提示する。

午後4時30分 閉会

以上